

廃棄物（ごみ）及び生物多様性に関するアンケート調査

令和7年9月 山梨県森林環境部 環境整備課
自然共生推進課

県民の廃棄物（ごみ）及び生物多様性に対する考え方を把握するため、アンケート調査を実施しました。

1 アンケート調査の実施期間

令和7年9月

2 回答数

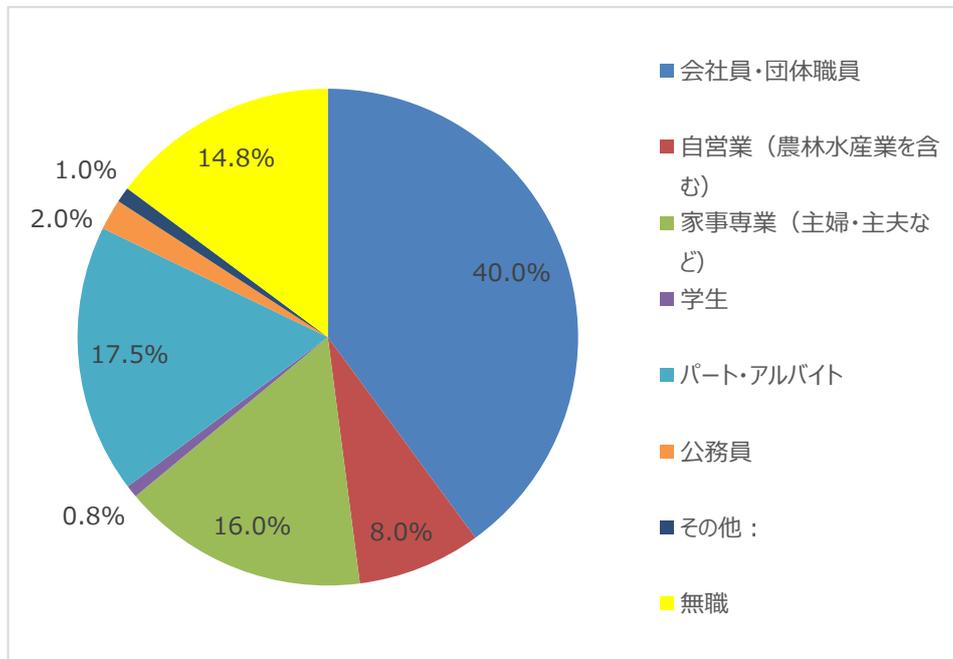
400人

※集計の百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

3 集計結果

あなたご自身についてお尋ねします。

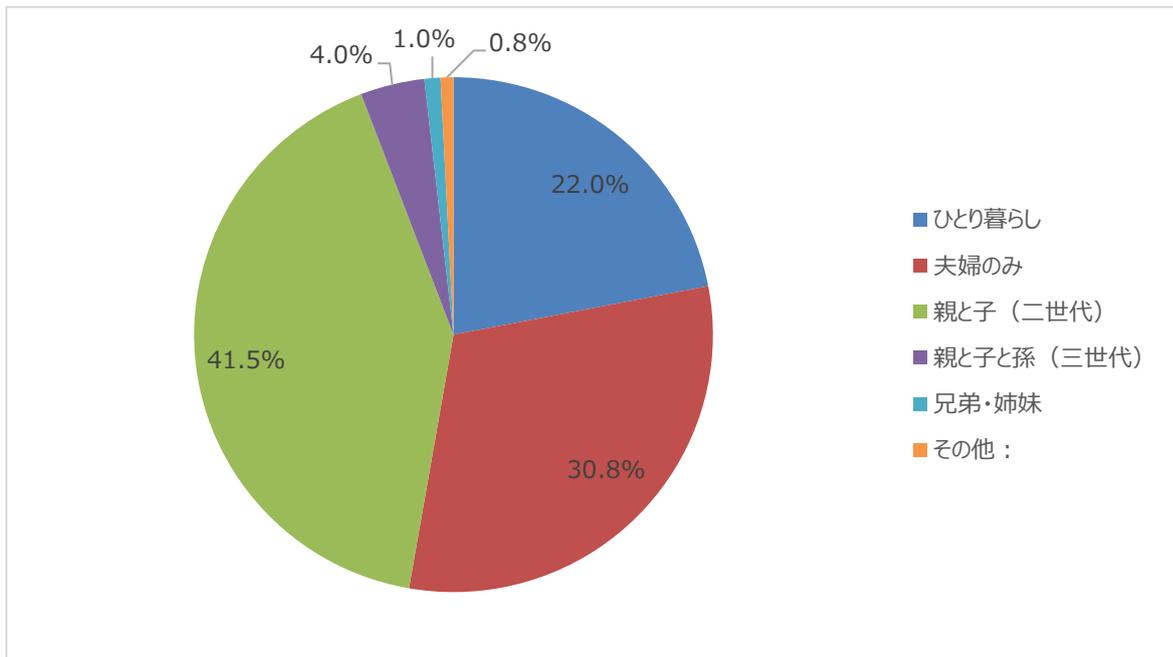
【SC1】 あなたの職業をお尋ねします。（回答者400名）



【SC2】 お住まいの地域をお尋ねします。（回答者400名）

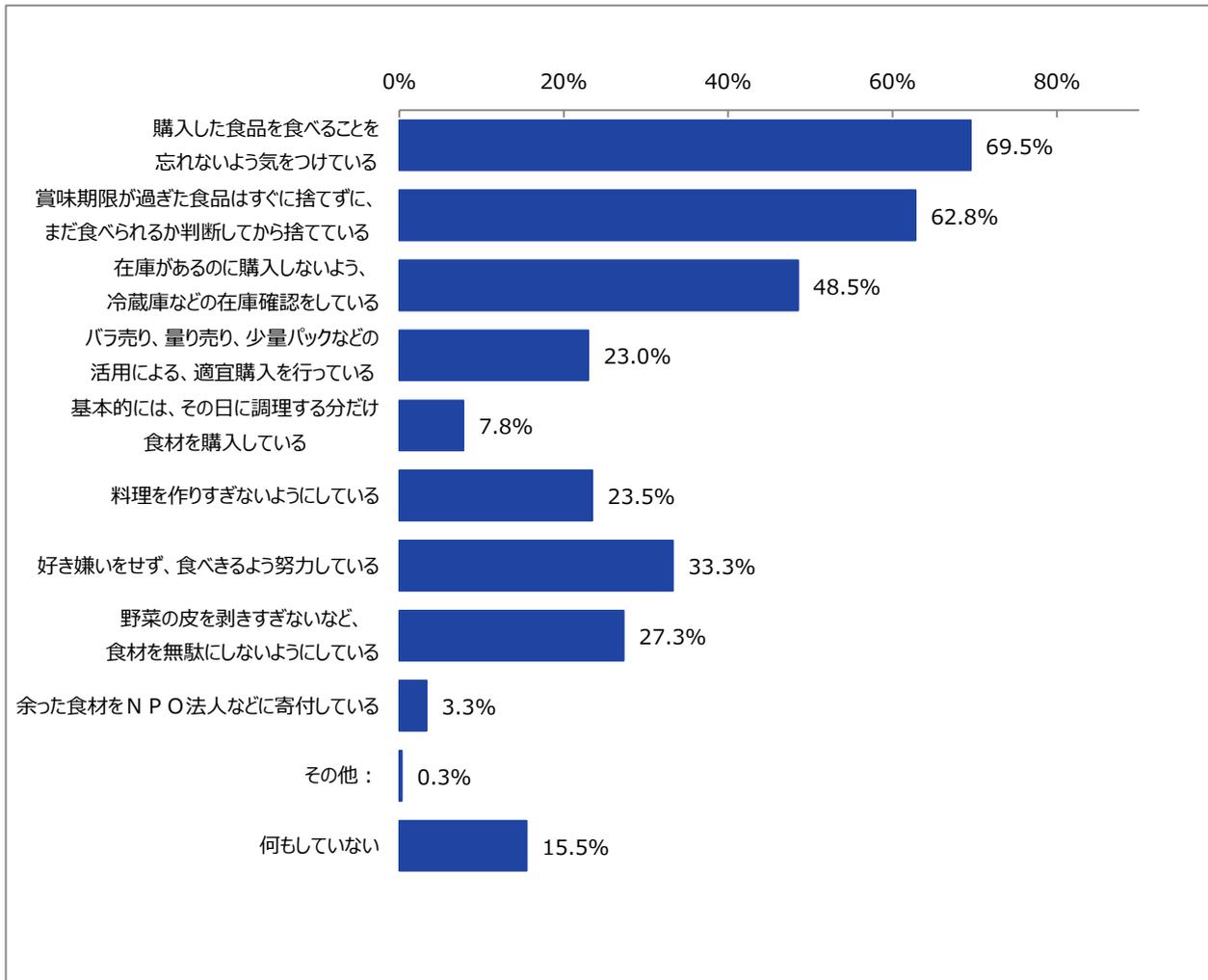
	n	%
甲府市	122	30.5%
富士吉田市	27	6.8%
都留市	19	4.8%
山梨市	9	2.3%
大月市	4	1.0%
韮崎市	17	4.3%
南アルプス市	34	8.5%
北杜市	23	5.8%
甲斐市	42	10.5%
笛吹市	29	7.3%
上野原市	3	0.8%
甲州市	9	2.3%
中央市	15	3.8%
西八代郡	5	1.3%
南巨摩郡	6	1.5%
中巨摩郡	10	2.5%
南都留郡	25	6.3%
北都留郡	1	0.3%

【SC3】 あなたの家族構成をお尋ねします。（回答者400名）



県では、令和 7 年度の生活系ごみの排出量を平成 30 年度の 20 万 5 千トンから 18 万 2 千トンに削減することを目標にしております。
はじめに、ごみの発生を抑制（リデュース）するための取り組みについてお尋ねします。

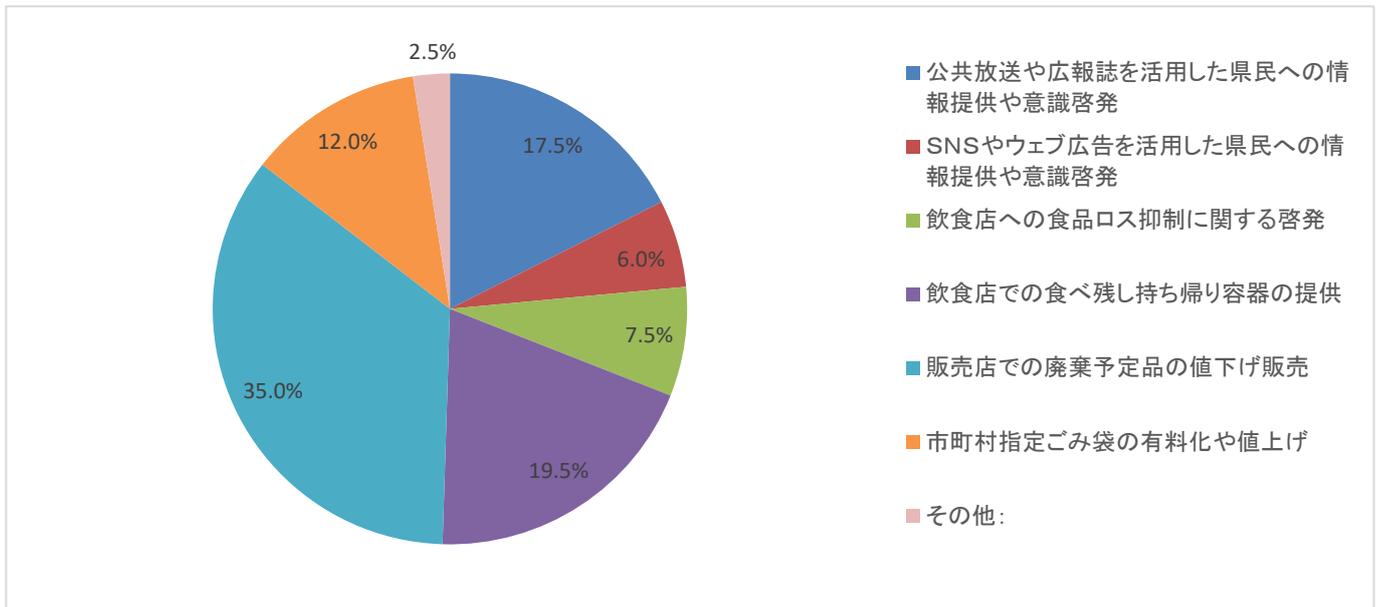
【Q1】 あなたの家庭（飲食店の食事を除く）で食品ロス（食べられるのに捨てられてしまう食品）を減らすために、すでに行っていることはありますか。あてはまるものを全て選んでお答えください。（回答者：400名）



【その他の回答】

・余計な買い物が必要にならないよう在庫ありきで献立を組み立てる

【Q2】 ごみの発生を抑制するためには、どのような施策が最も有効と考えますか。一つ選んでお答えください。（回答者400名）

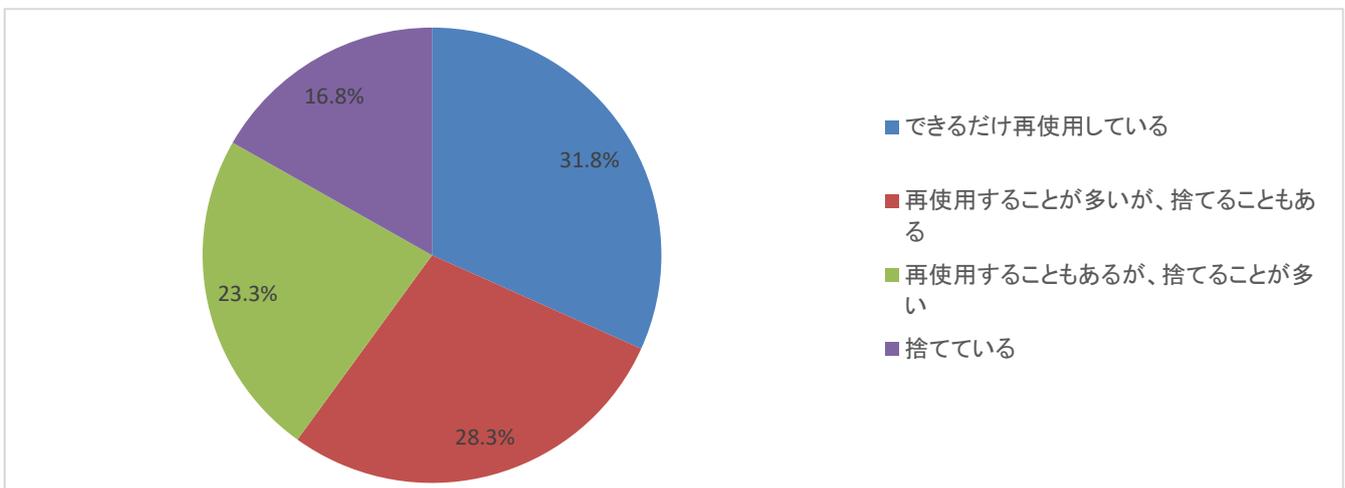


【その他の回答】

- ・販売店での手前どり
- ・燃えるゴミとは別に食物残渣を廃棄(回収)できるシステムの開発
- ・食材のムダを失くす買い物の仕方や調理方法を普及させる など

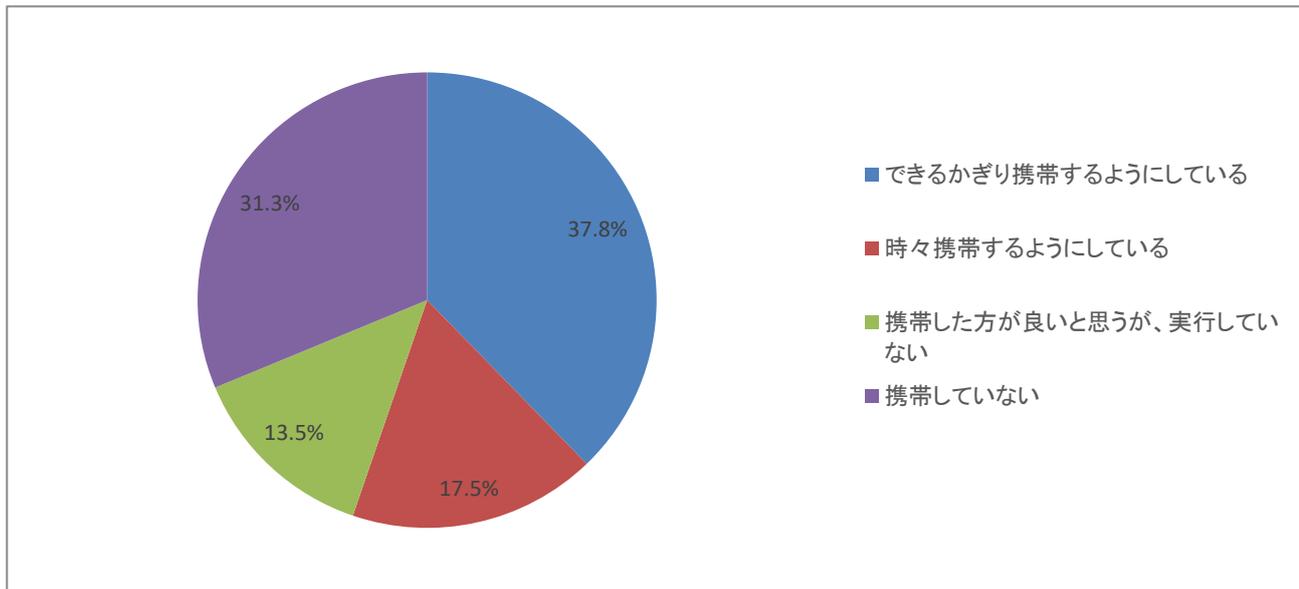
いったん使用された製品、部品、容器等を、形状を維持したまま再使用すること（リユース）は、リサイクルに比べ、発生する廃棄物等の量も少ないとされています。そこで、再使用（リユース）に関する取り組みについてお尋ねします。

【Q3】 古着などは捨てずに、WEB におけるフリマサイトやフリーマーケットへの出品、リサイクルショップでの売買など再使用していますか。一つ選んでお答えください。（回答者400名）



【Q4】 マイボトルやご自分のはし（マイはし）など繰り返し使用できる製品を携帯して、使い捨て製品を使わないようにしていますか。一つ選んでお答えください。

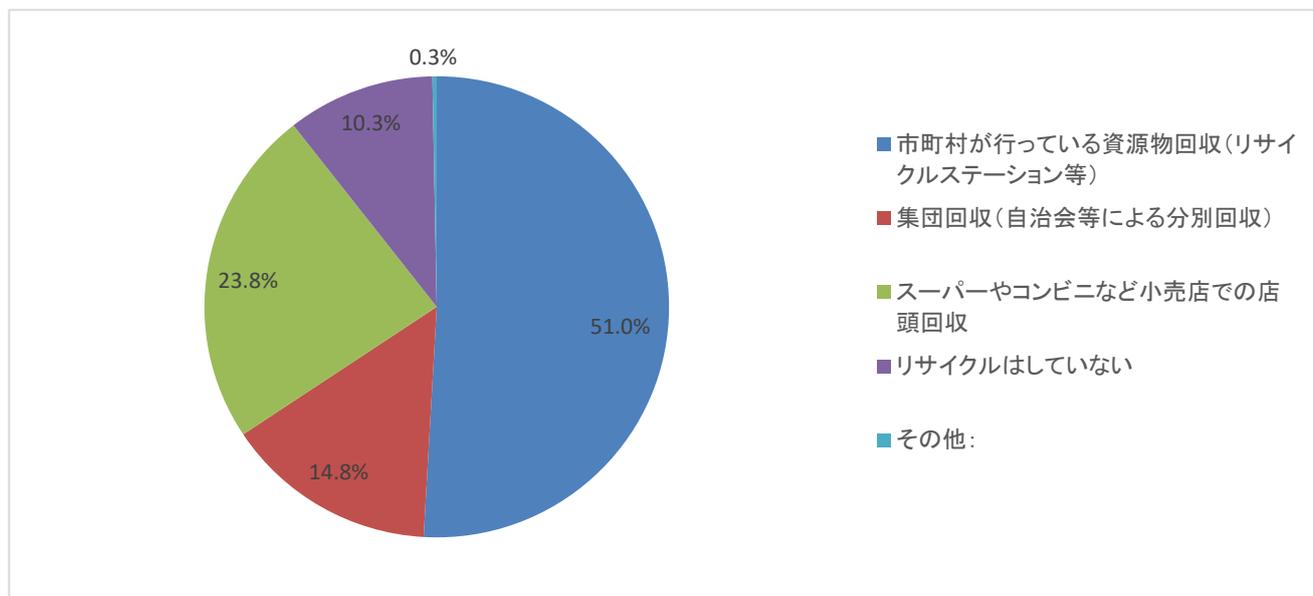
（回答者 400名）



県では、令和7年度の生活系ごみを含む一般廃棄物のリサイクル率を平成30年度の17.0%から25.0%にすることを目標にしております。

そこで、ごみの再資源化（リサイクル）に関する取り組みについてお尋ねします。

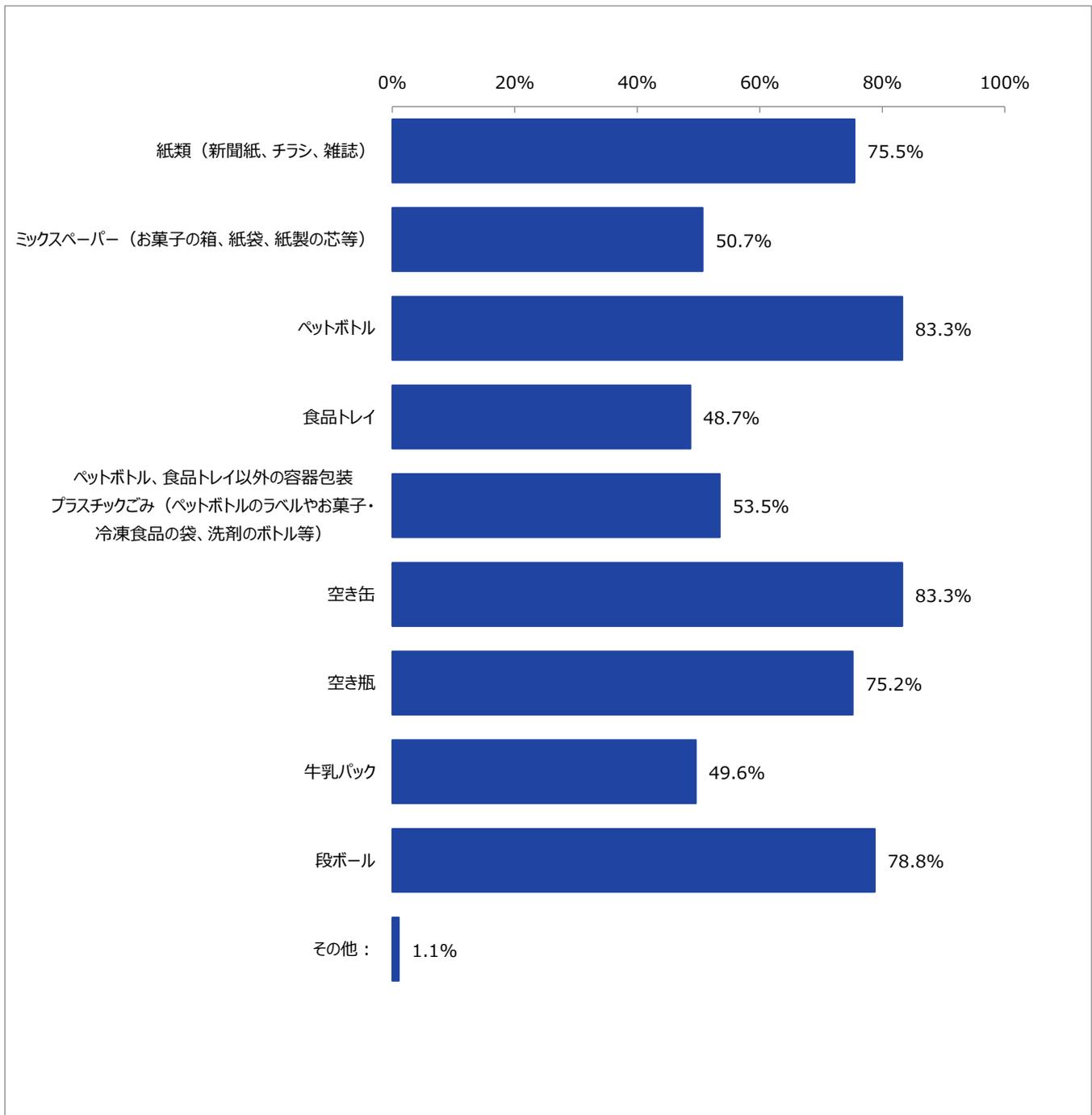
【Q5】 どのような手段で資源物をリサイクルしていますか。最も多い方法を一つ選んでお答えください。（回答者 400名）



【その他の回答】

・リサイクル業者による2週間に一度の自宅訪問回収

【Q6】 分別してリサイクルに出している資源物は何ですか。あてはまるものを全て選んでお答えください。（回答者400名）

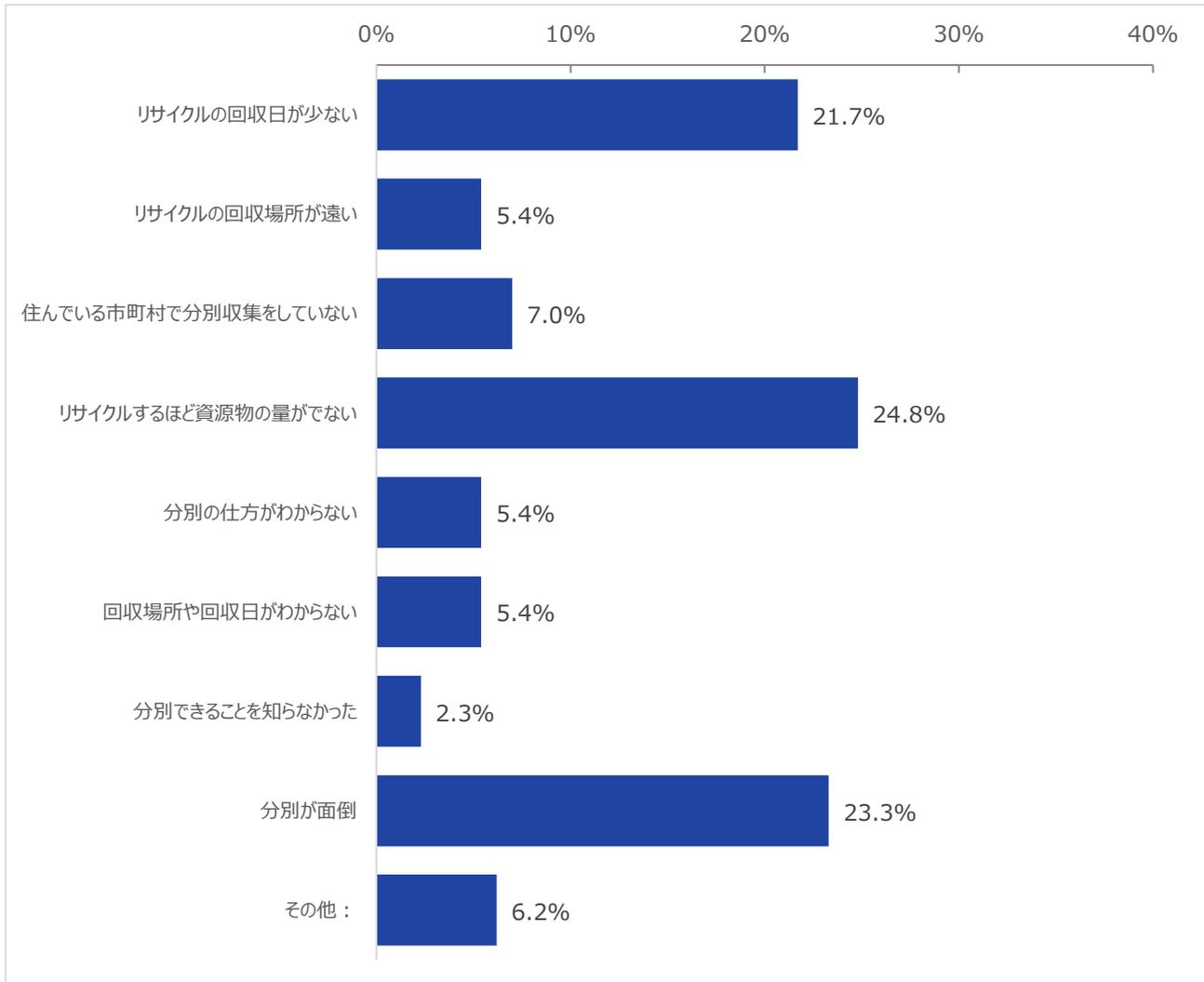


【その他の回答】

- ・ 二次電池
- ・ 服
- ・ プリンターのインクカートリッジ など

【Q7】 下記の資源物について、分別してリサイクルに出していない理由は何ですか。項目ごと、あてはまるものを全て選んでお答えください。

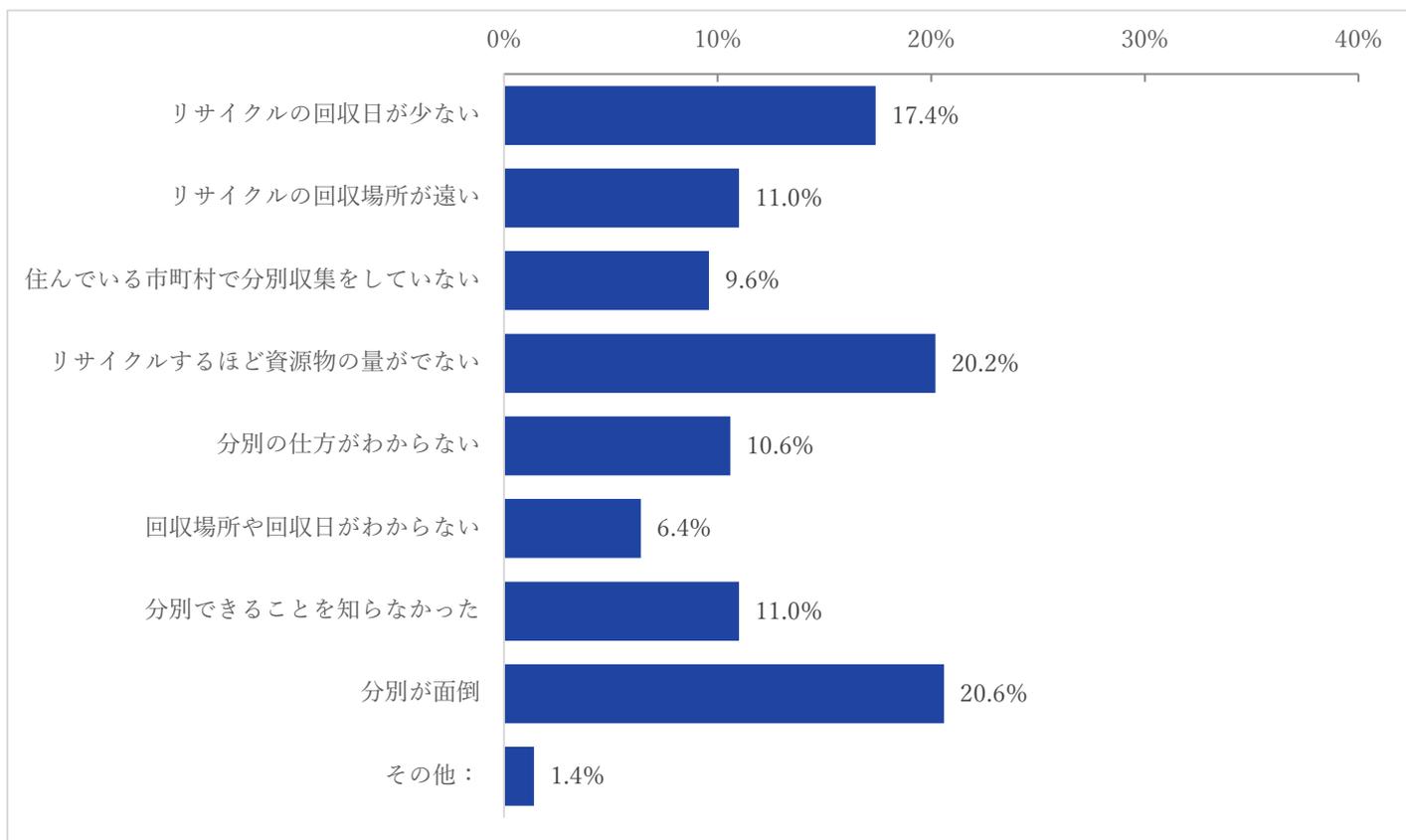
1. 紙類（新聞紙、チラシ、雑誌）（回答者 129名）



【その他の回答】

・新聞紙、雑誌は買わないから など

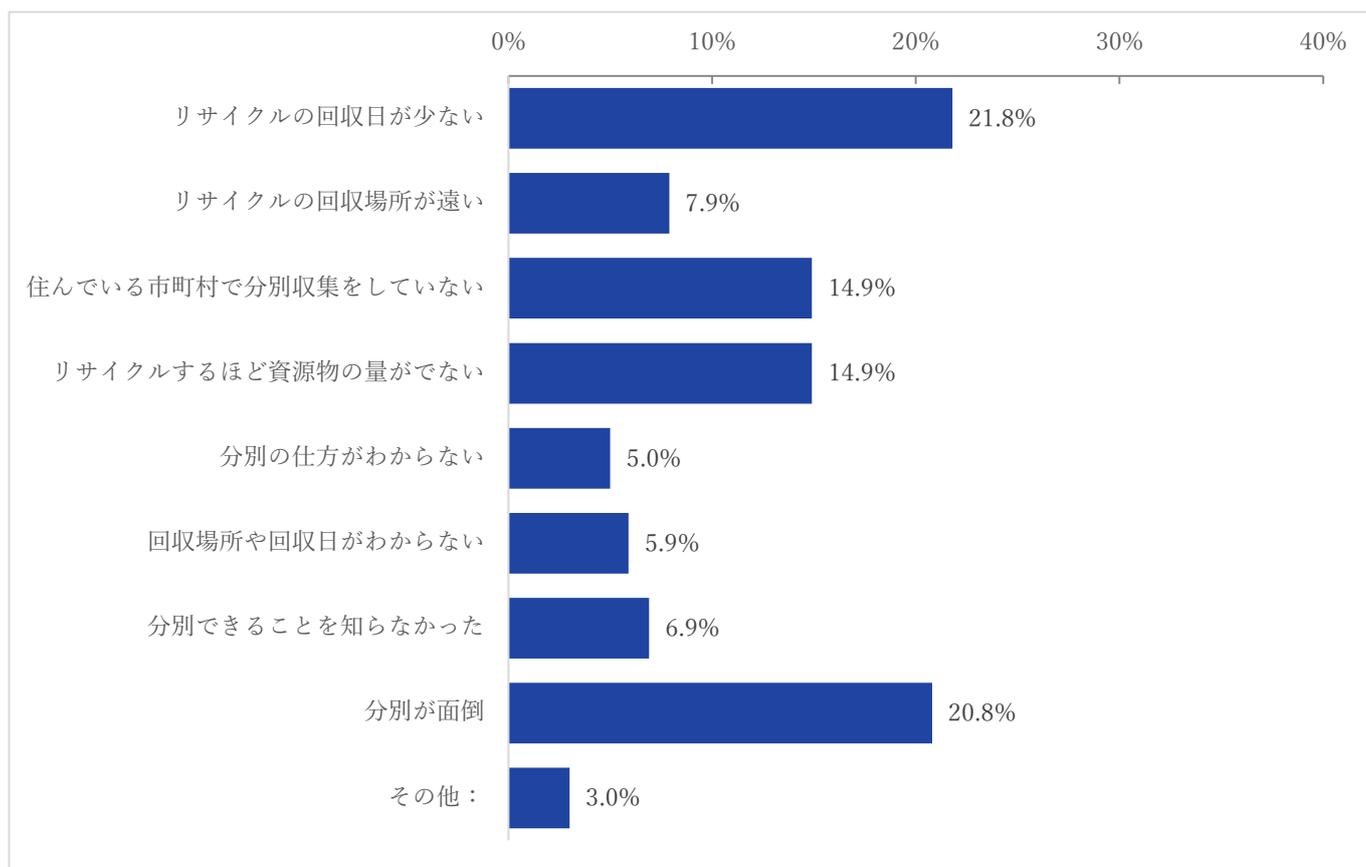
2. ミックスペーパー（お菓子の箱、紙袋、紙製の芯等）（回答者 218名）



【その他の回答】

- ・購入しないから

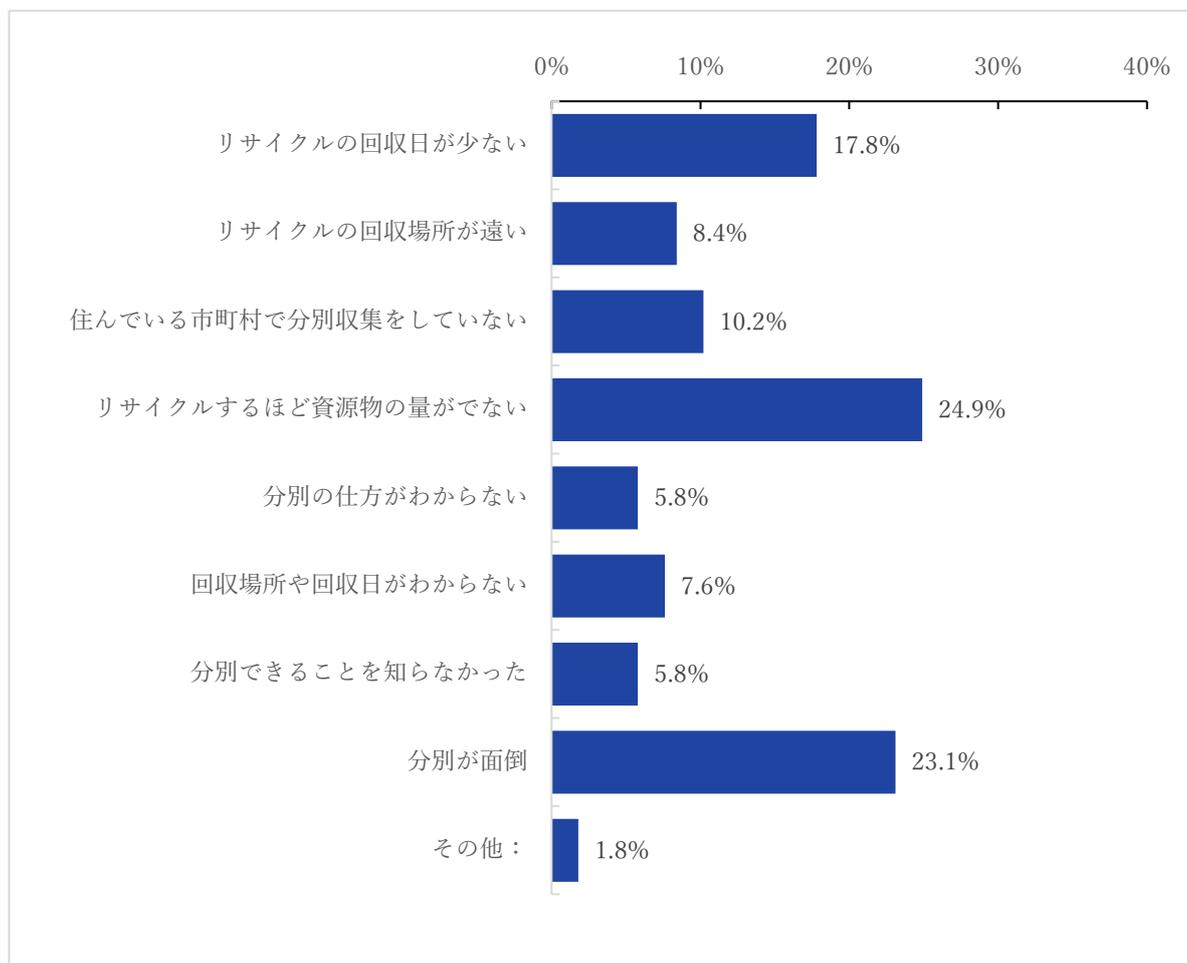
3. ペットボトル（回答者101名）



【その他の回答】

- ・分別している
- ・家族に任せているため把握していない など

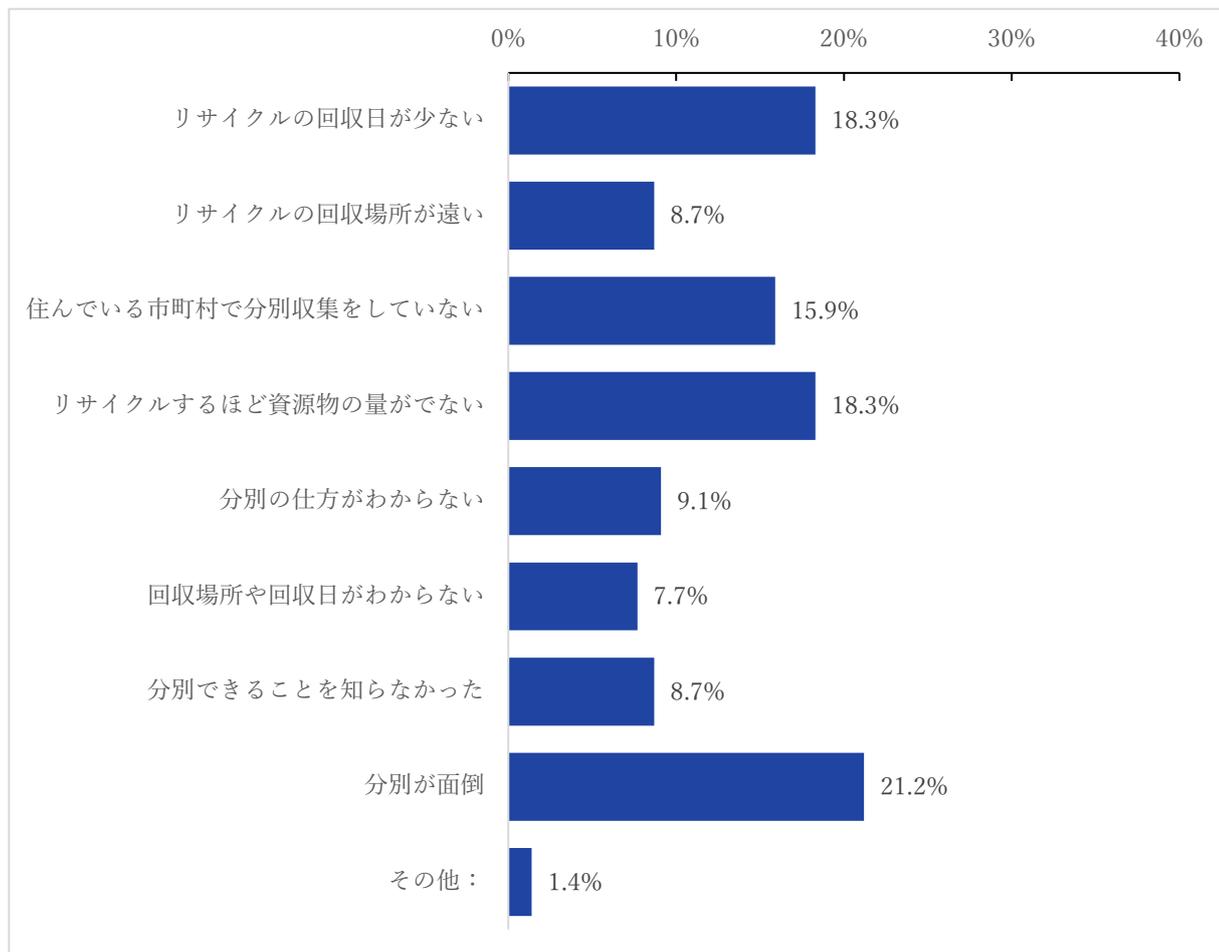
4. 食品トレイ（回答者225名）



【その他の回答】

- ・調理の際バットの代わりに利用するので汚れているため など

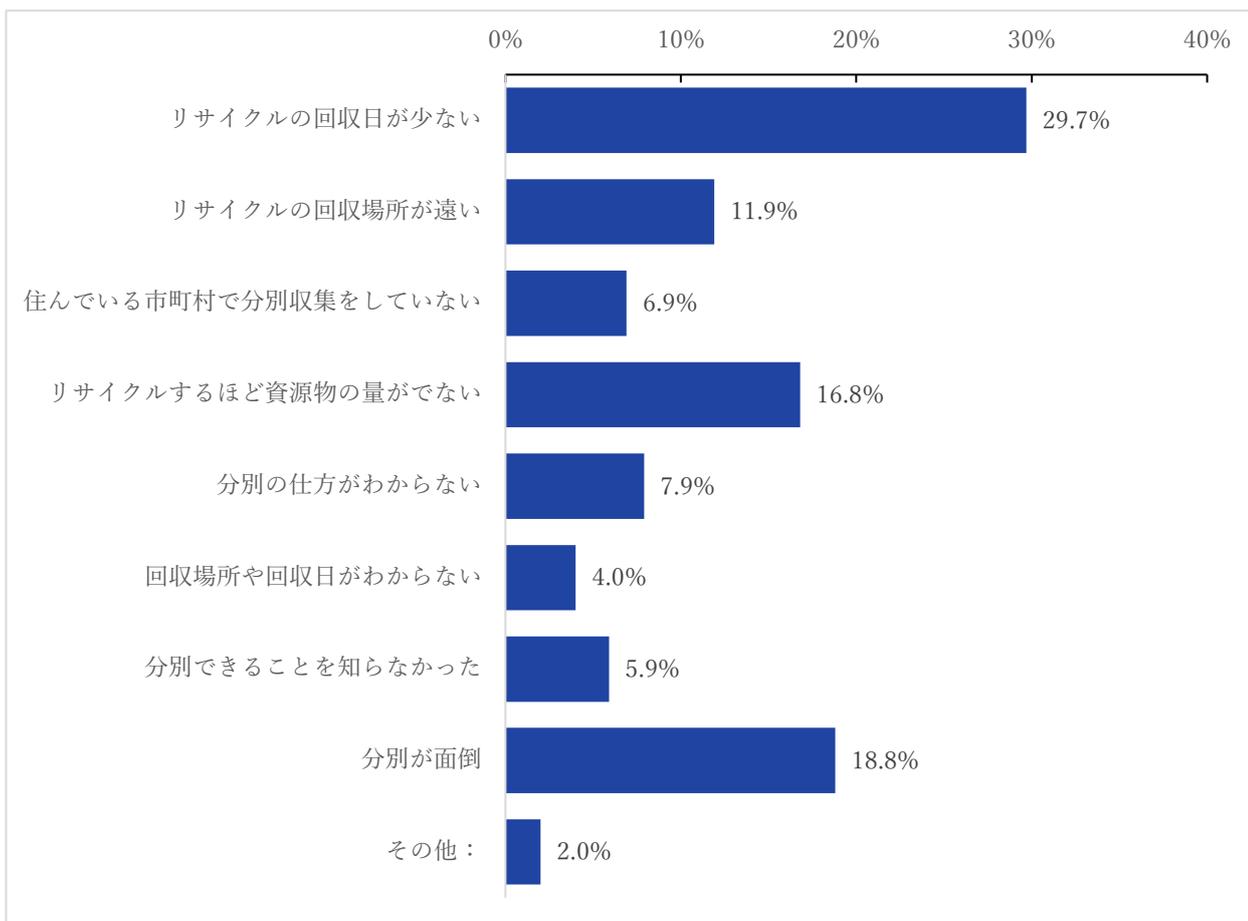
5. ペットボトル、食品トレイ以外の容器包装プラスチックごみ（ペットボトルのラベルやお菓子・冷凍食品の袋、洗剤のボトル等）（回答者208名）



【その他の回答】

・手間だから など

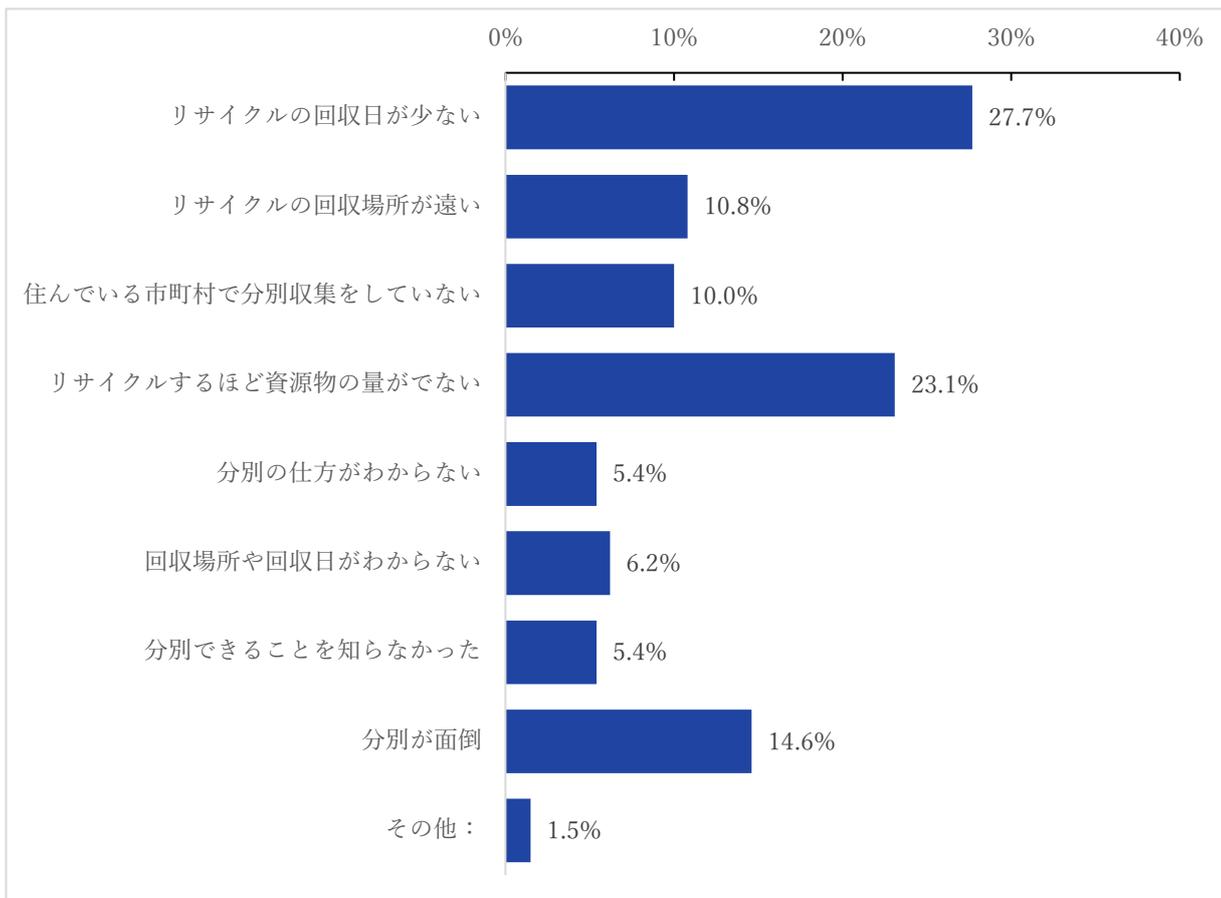
6. 空き缶（回答者101名）



【その他の回答】

- ・家族に任せているため把握していない など

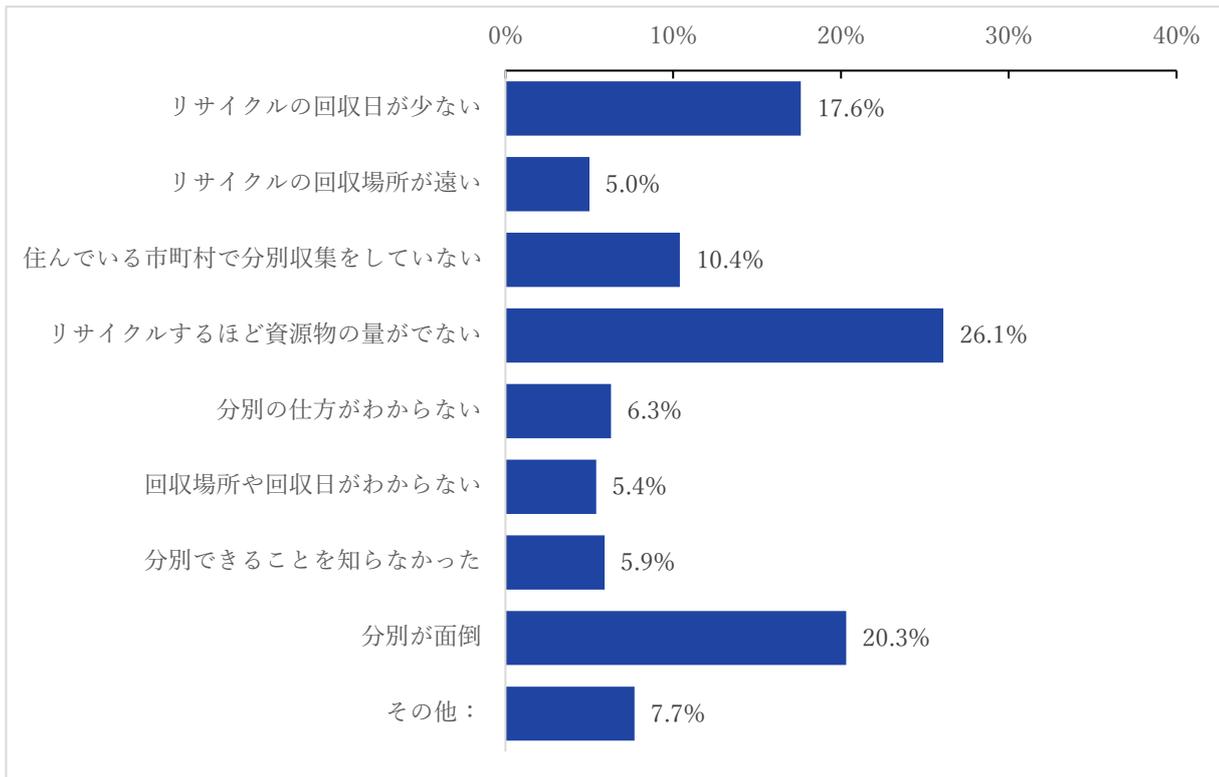
7. 空き瓶（回答者130名）



【その他の回答】

・家族に任せているため把握していない など

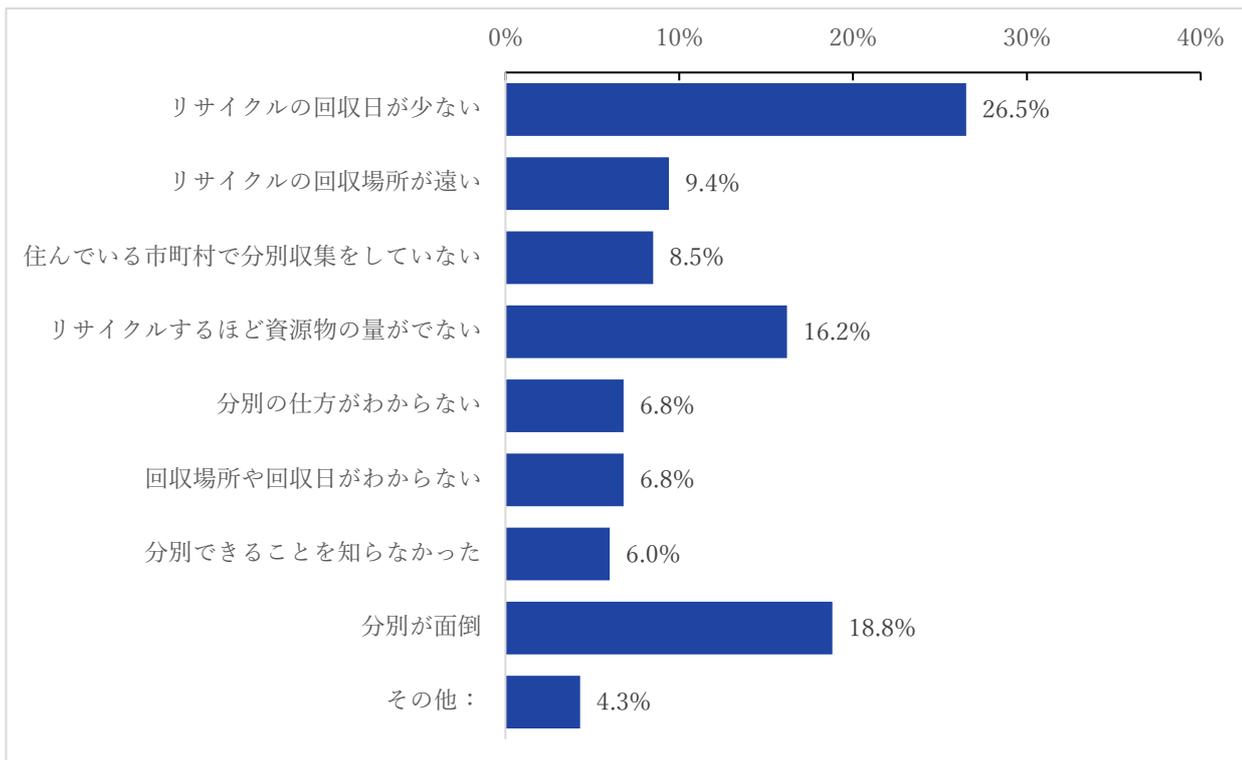
8. 牛乳パック（回答者222名）



【その他の回答】

- ・肉や魚を切るときまな板として使用しているから
- ・料理に使うため
- ・購入しないから など

9. 段ボール（回答者117名）

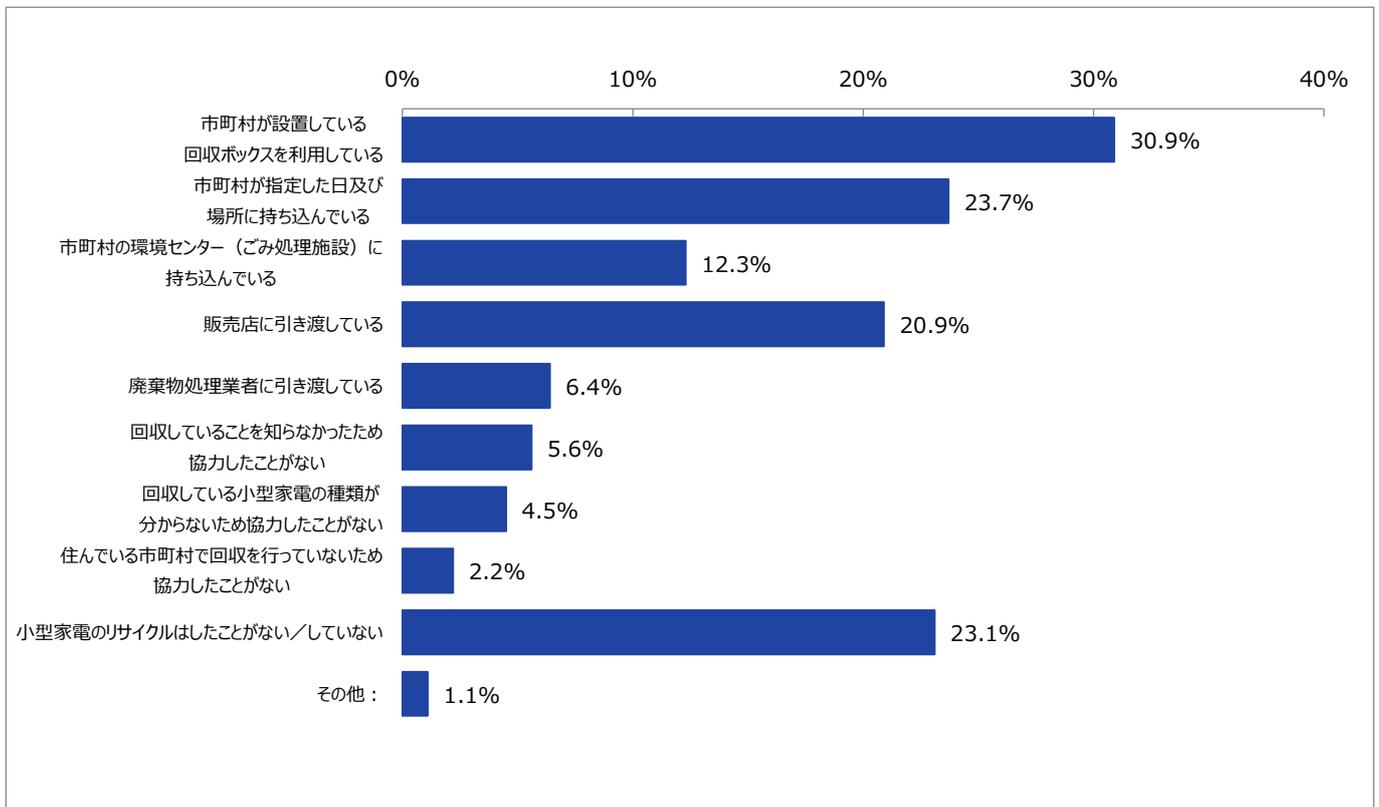


【その他の回答】

- ・スーパー等の店頭回収に出しているから
- ・使用していないから など

【Q8】 携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電には有用な金属（レアメタル）が含まれており、多くの市町村で小型家電のリサイクルの取り組みが行われているところです。小型家電の廃棄はどのように行っていますか。あてはまるものを全て選んでお答えください。

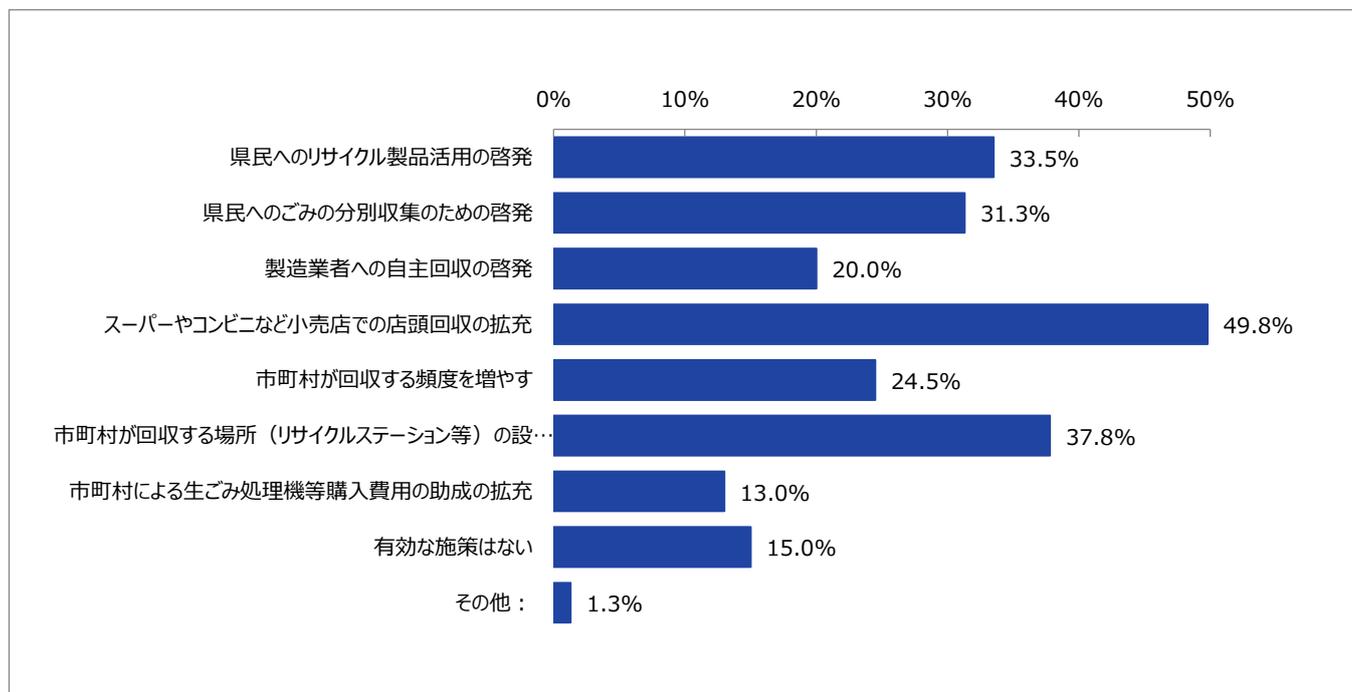
(回答者400名)



【その他の回答】

- ・リサイクルショップで売却している
- ・指定ごみ袋で出している
- ・アパートの契約業者が回収している など

【Q9】 リサイクルの取り組みを促進するためには、どのような施策が最も有効だと考えますか。あてはまるものを全て選んでお答えください。（回答者400名）



【その他の回答】

- ・高齢者は年齢を重ねるとゴミの分別ができなくなる人もいるので、分別ボランティアが活用できると良い
- ・アプリ等を活用して、リサイクルしたらポイント等が貯まるような取組をする。（ポイントは貯めるとギフトカード等に交換ができる） など

市町村または地区のごみ収集に関することについてお尋ねします。

【Q10】 市町村または地区のごみ収集に関し困っていることや工夫してほしいことがありましたら、ご自由にご意見をお書きください。(回答者148名)

【回答内容】

・自治会の回収回数が少子高齢化や人出不足で減ってしまった。市町村がシルバー人材センターを活用してゴミの回収を助けると良いと思う。

◎回数が少ない、回数を増やしてほしい、回収時間を長くしてほしい。

・ごみやリサイクルについて、小学校、中学校で講座を開き、エコパーク等の見学をして小さい頃からの教育、啓発をして欲しい。

◎ルールを守らない住民がいる。

◎ゴミが回収ボックスに入りきらず外に溢れることがある。

◎ゴミ袋の小さめサイズも作ってほしい、ゴミ袋の強度が弱い

・粗大ごみの種類がわからない。粗大ごみの処分が厄介で面倒

・粗大ゴミの許容サイズが小さすぎる。ベッドなどの粗大ゴミは業者に引き取ってもらえけれど、何万円も取られて大変。

・多言語での案内、外国人向けの注意喚起

◎ゴミステーションの設置

・可燃ゴミステーションの使用が、区・隣保班(組)に加入しないと許可されない。管理面で楽なのはわかるが、市町村が管理する方向へ変更してほしい。

◎出し方が良くわからない。ルールが明確でない。回収方法の周知

◎リチウム電池の回収方法。廃棄方法がわからない

◎猫、カラス等がごみ収集場所を荒らしている

・プラゴミを分別しているが本当にリサイクルされているのか知りたい

◎収集場所が遠い。リサイクルステーションがどこにあるのか分からない。

・廃棄できないゴミの対応に困っている。例えば、漬物石やコンクリートブロックなど。

・防犯カメラの設置補助

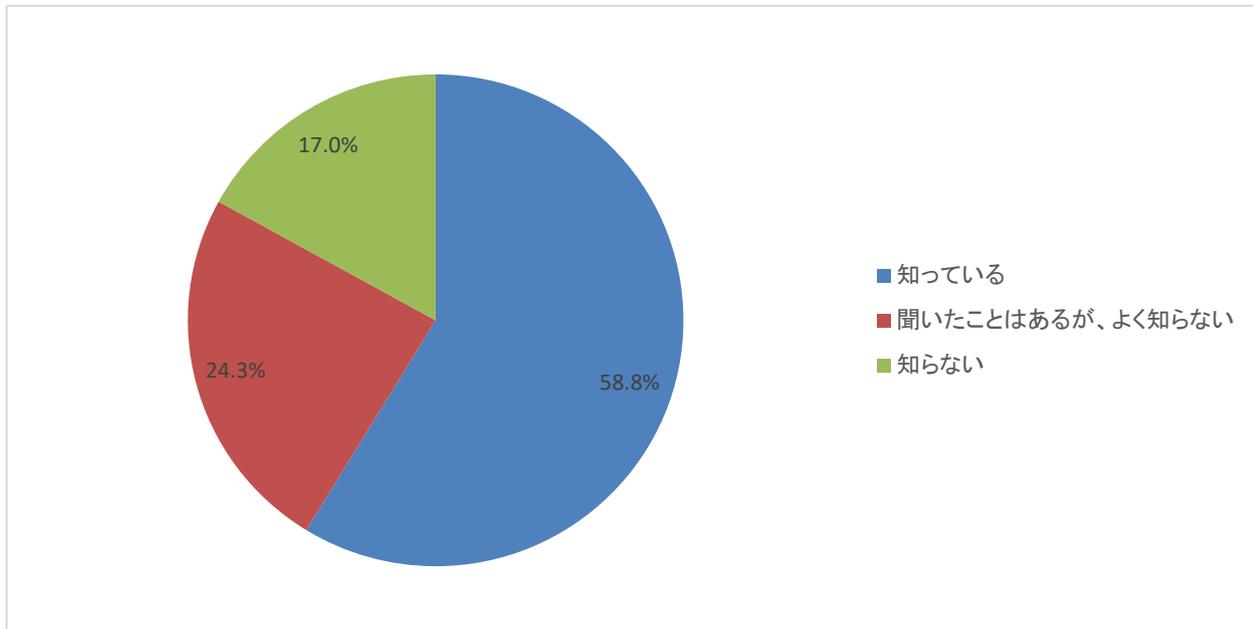
◎ポイント制にしてほしい

など

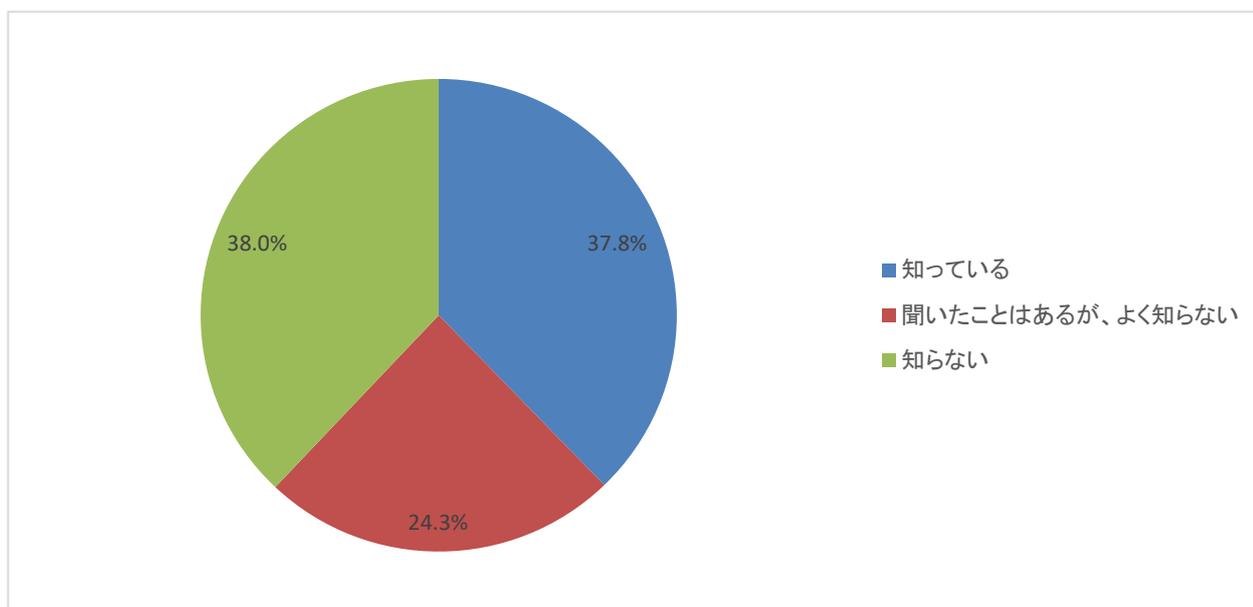
◎は複数の回答者から同様の内容であったもの

世界中で海に流出するプラスチックごみの量は年間 800 万トンと言われ、2050 年には海洋プラスチックごみの量が海洋中の魚の量を上回ると予測されています。そこで、プラスチックごみに関する取り組みについてお尋ねします。

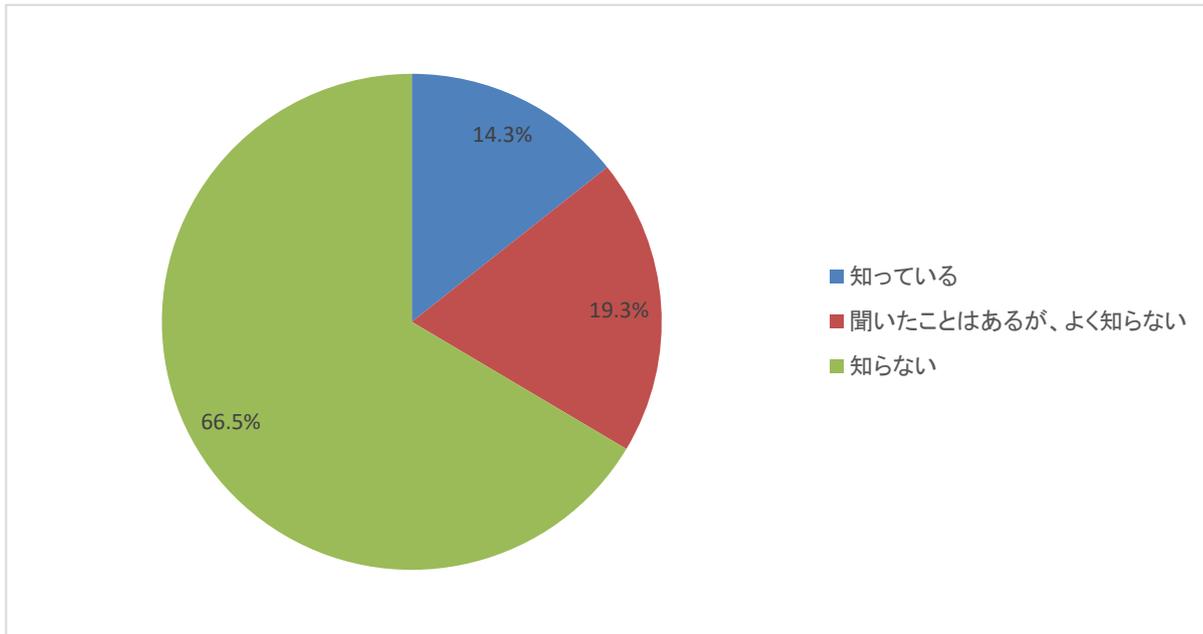
【Q1 1】 ポイ捨てや風に飛ばされたプラスチックごみが、河川を通じて海へ流出していることを知っていますか。(回答者 400 名)



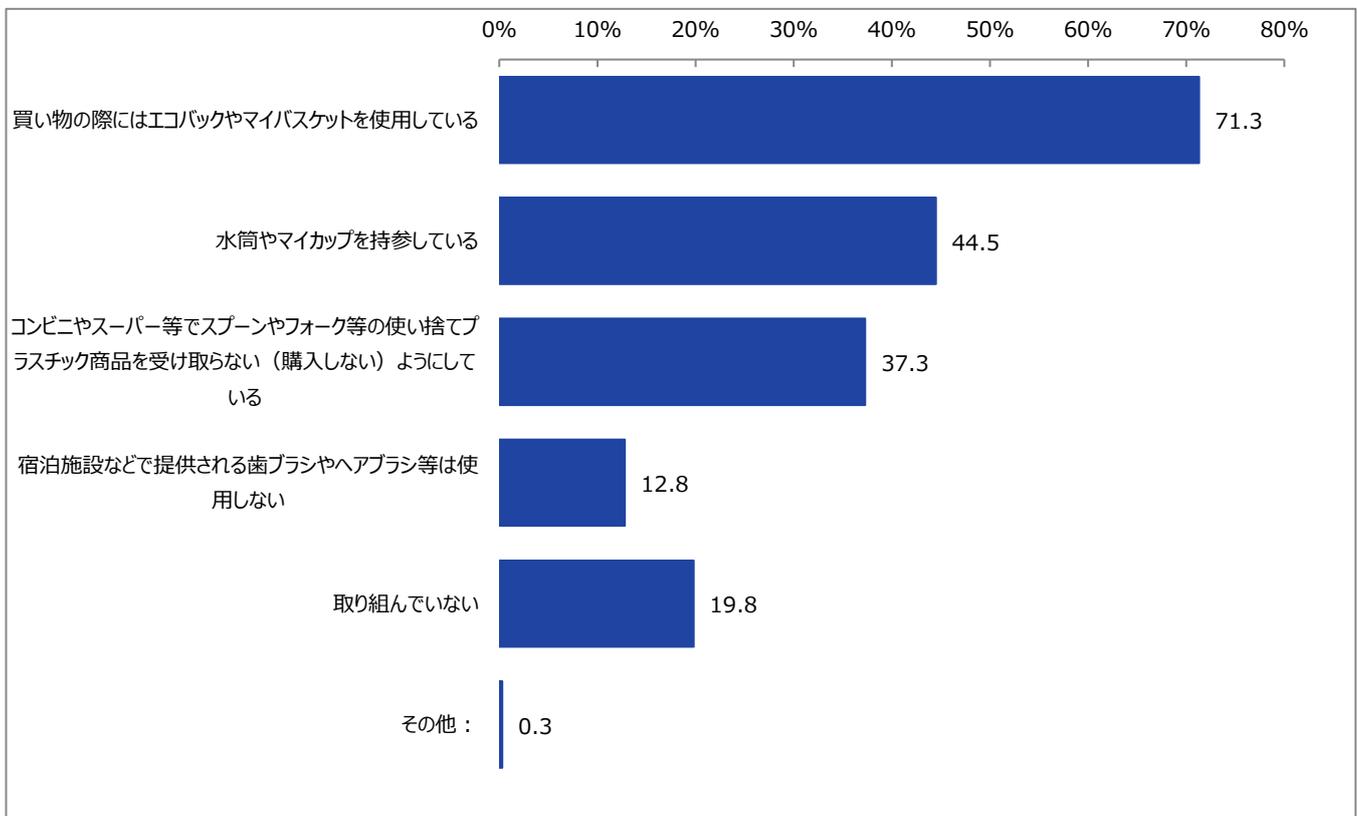
【Q1 2】 山梨県内の河川や湖沼でも、マイクロプラスチック（5mm以下の微細なプラスチック片）が確認されていることを知っていますか。(回答者 400 名)



【Q13】 マイクロプラスチックの発生源は多岐にわたりますが、人工芝が発生源の一つとして推定されていることを知っていますか。（回答者400名）



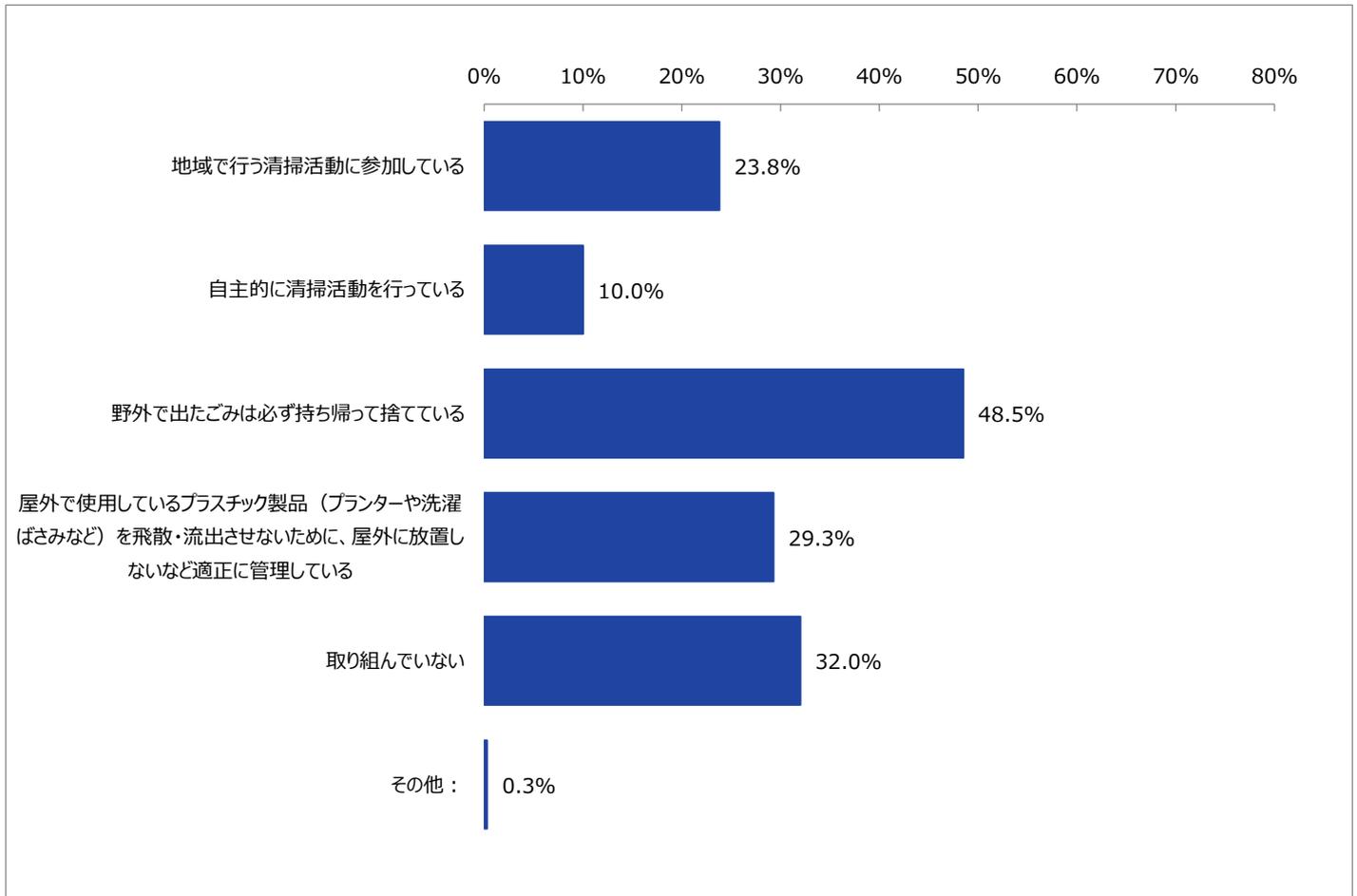
【Q14】 ワンウェイプラスチック（スプーン、フォーク、飲料用ストローなど使い捨てのプラスチック製品）を削減するために取り組んでいることはありますか。あてはまるものを全て選んでお答えください。（いくつでも）（回答者400名）



【その他の回答】

- ・その場で食べる時以外はスプーンをもらわない

【Q15】 プラスチックごみの海洋流出の要因とされている散乱ごみ（ポイ捨てや不法投棄によるものだけでなく、意図せず風雨等により散乱したり、経年劣化により破片化して流出したごみ）への対策で取り組んでいることはありますか。あてはまるものを全て選んでお答えください。（回答者400名）



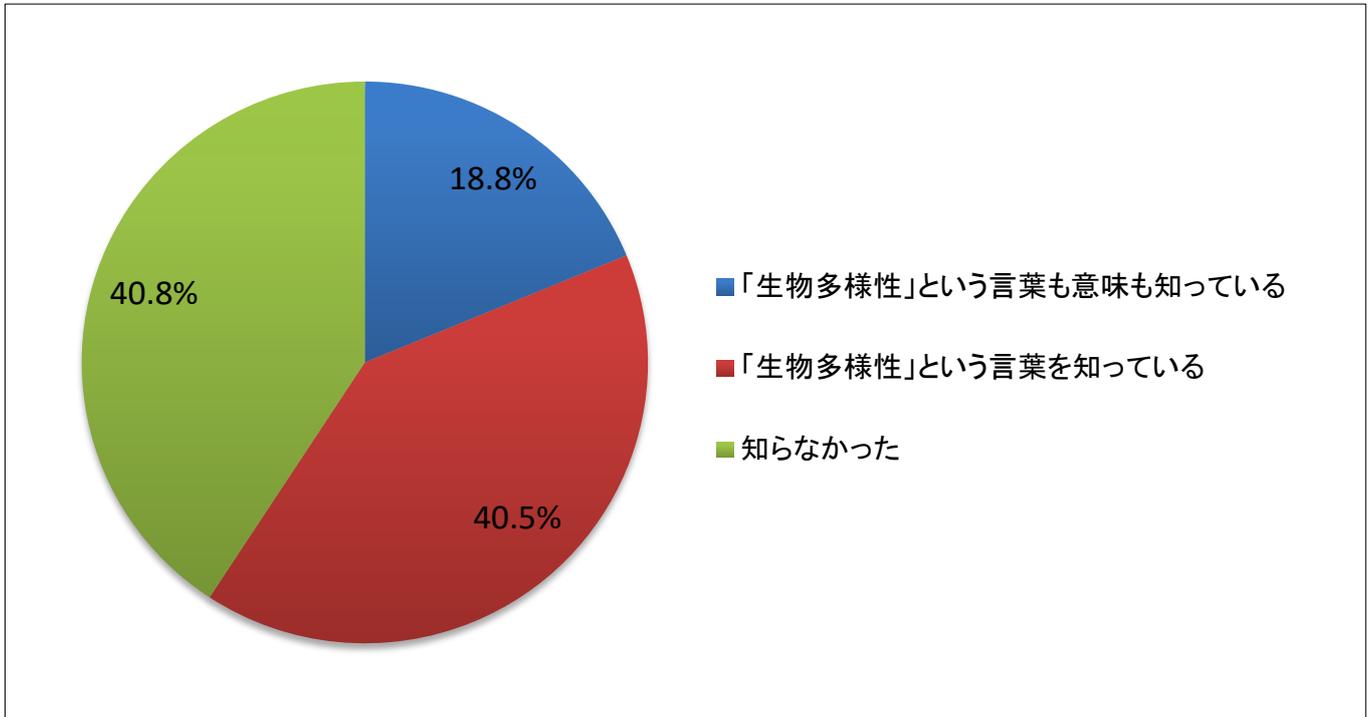
【その他の回答】

- ・プラを屋外で散乱させるような生活はしていない

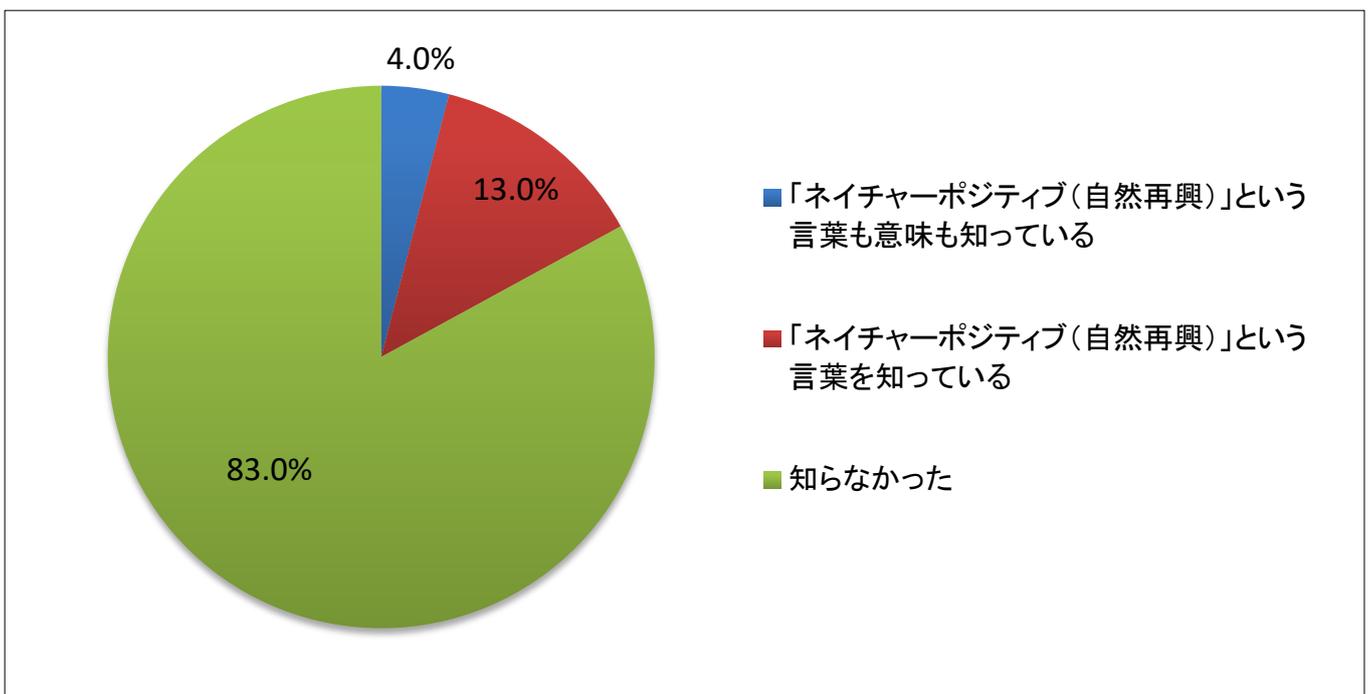
生物多様性についてお尋ねします。

【Q16】 「生物多様性」とは、多様な生きものがそれぞれに個性を持ち、支え合って生きていることを言います。あなたは、「生物多様性」をご存じでしたか。

(回答者400名)

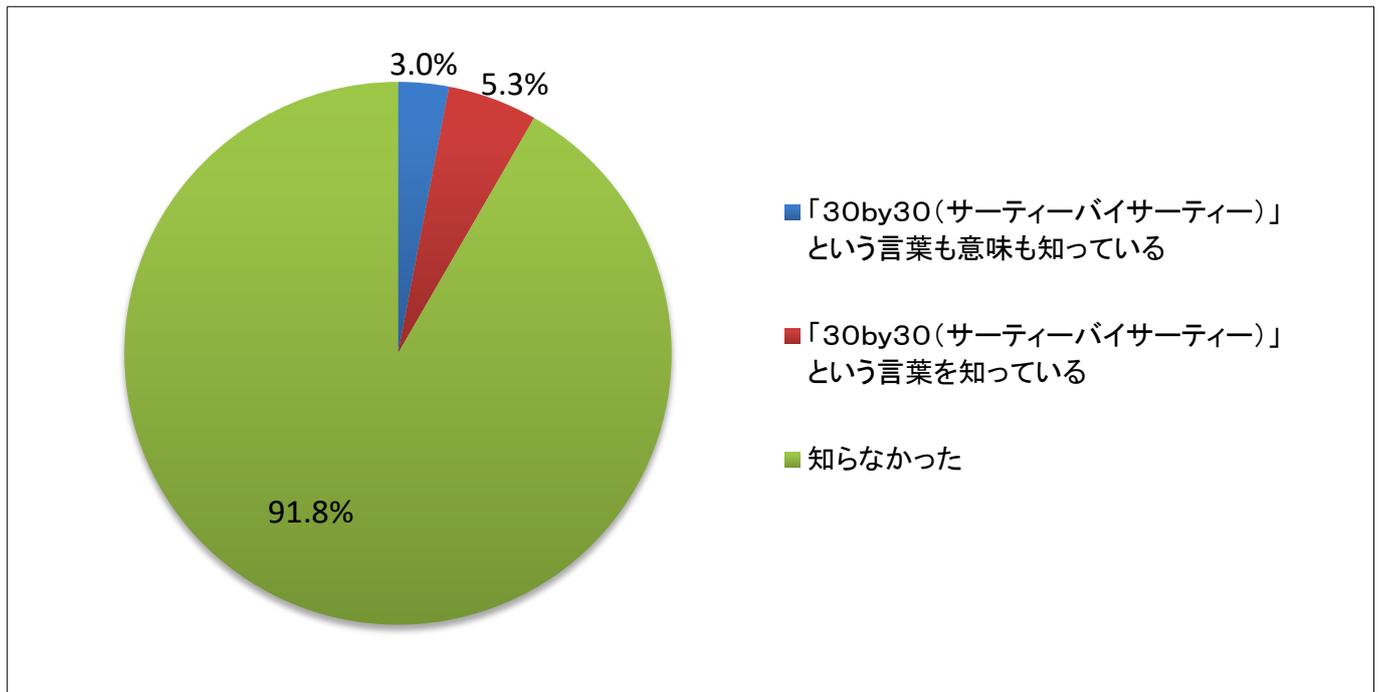


【Q17】 国では、2030年までに生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を目標としています。あなたは、「ネイチャーポジティブ(自然再興)」をご存じでしたか。(回答者400名)



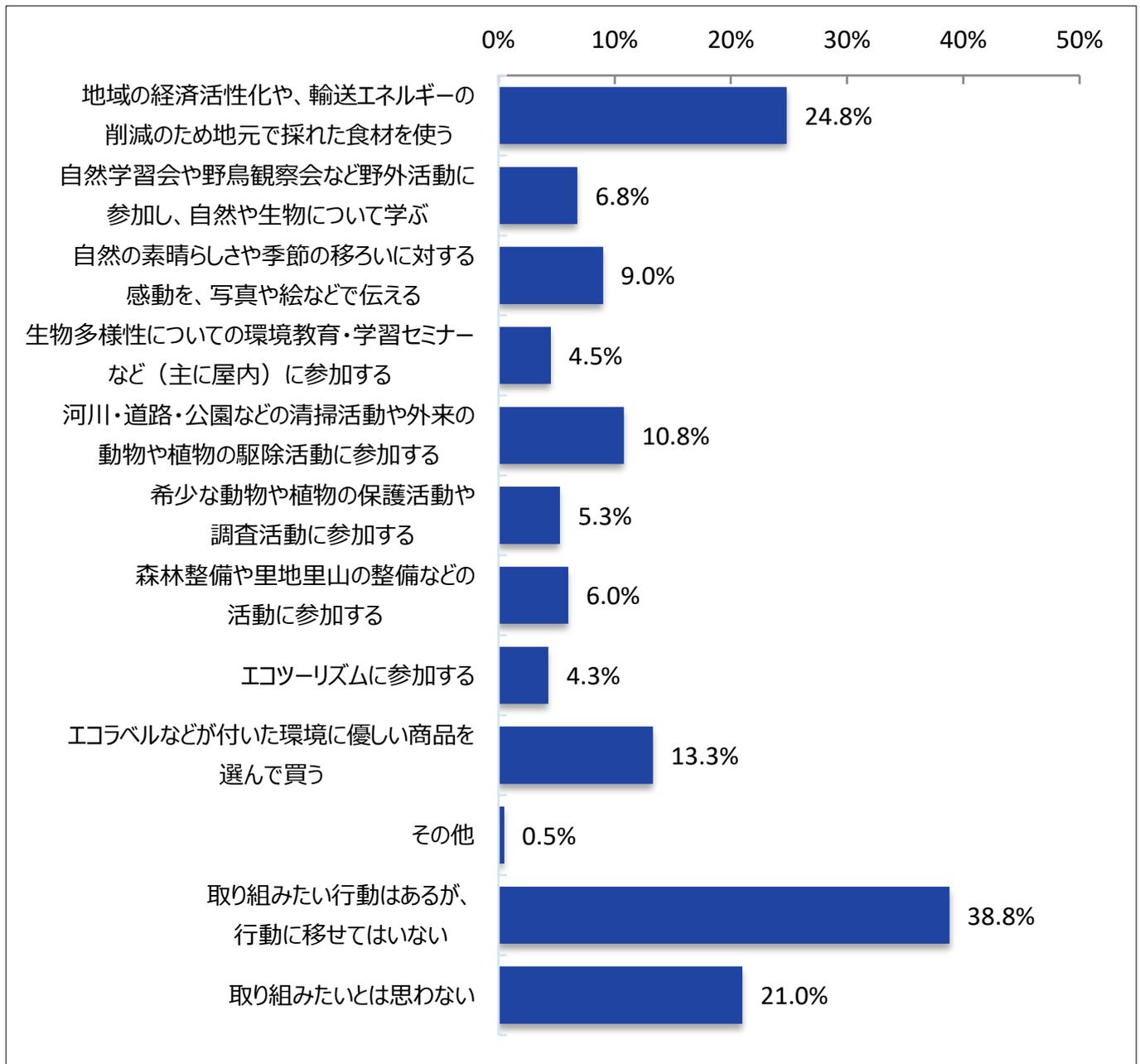
【Q18】 国では、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする「30by30（サーティーバイサーティー）」を目標としています。あなたは、「30by30（サーティーバイサーティー）」をご存じでしたか。

(回答者400名)



生物多様性に関する取り組みについてお尋ねします。

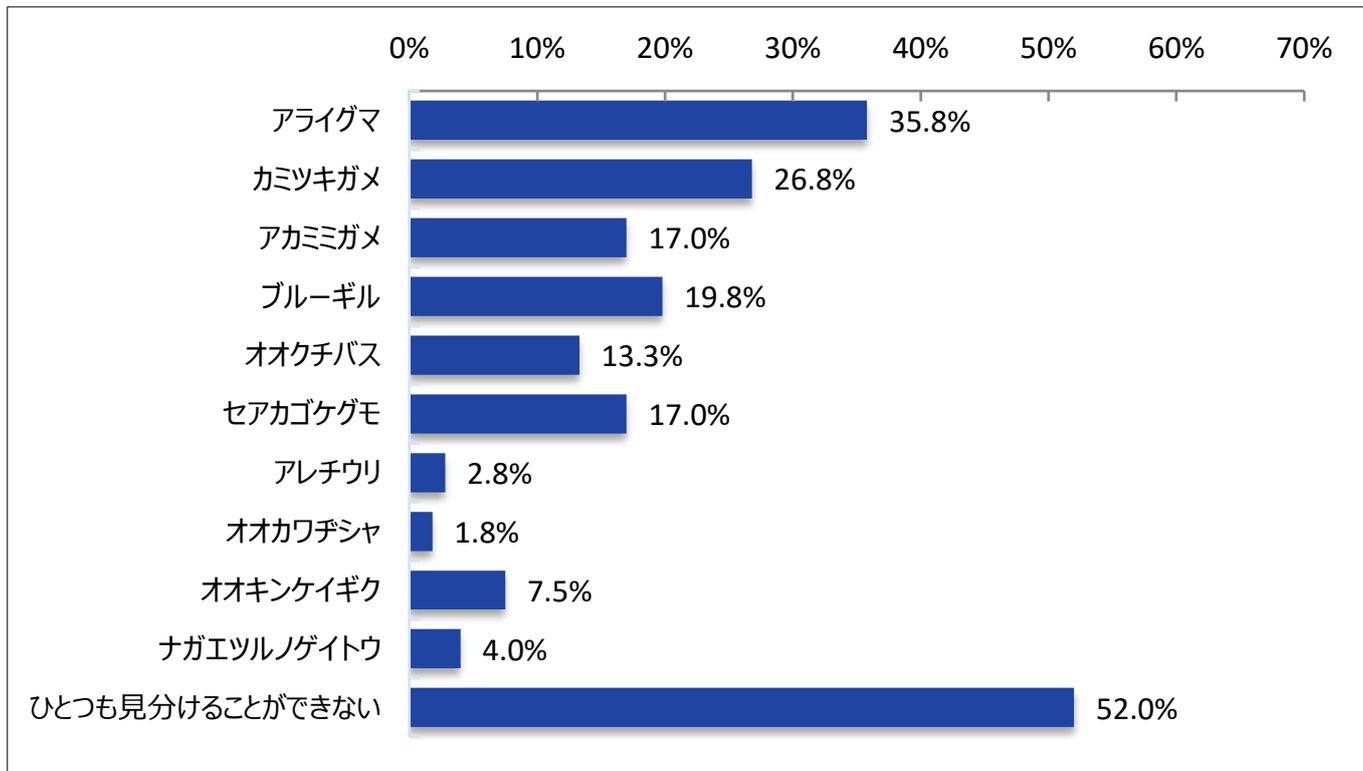
【Q19】 あなたは、生物多様性の保全に貢献する行動として、次にあげる行動の中で既に取り組んでいることはありますか。(3つまで) (回答者400名)



【その他の回答】

・わからない

【Q20】 「外来種」とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことです。次の生物は「外来種」ですが、あなたはこれらを見分けられますか。(いくつでも) (回答者400名)



ユネスコエコパークについてお尋ねします。

【Q21】 山梨、埼玉、長野、東京にまたがるエリアの「甲武信ユネスコエコパーク」について、知っていますか。(回答者400名)

